

安原地区歴史研究会だより

先日6月24日（金）歴史研究会のバス研修会で、諏訪・岡谷に延びる鎌倉街道（西街道）、それに関する建物群（小坂観音院、諏訪上社前宮・本宮、茅野市神長官守矢史料館、建築家藤森照信作品〈空飛ぶ泥船〉〈高過庵〉〈低過庵〉）と、諏訪市博物館にて「諏訪信仰と御柱」を学習しに出かけてきました。

今回の研究会だよりでは、それらの内、鎌倉街道、小坂観音院、守矢史料館の3つをご紹介します。



宮川（茅野市）

鎌倉街道遊歩道

諏訪大社上社前宮



上社前宮御柱

① 鎌倉街道

鎌倉街道は、むかし鎌倉に幕府があった時、鎌倉を中心にして、関東諸国に通じた主要道路の総称で、いざ鎌倉という場合に、鎌倉幕府の御家人が馳せ参じるための道をいいます。NHK大河ドラマで実は何回も舞台として出てきています。

また研修前6月17日、鎌倉街道の一つ、新田義貞が鎌倉幕府を倒す際に通ったとされる鎌倉街道上道（かみつみち）（埼玉県毛呂山町）が、国の史跡の一つに指定される見通しとなったところでした。㊦

さて、当日私たちが歩いた道は、鎌倉の諏訪への道筋の一部で、鎌倉より足柄峠を越え、河口湖から御坂峠を経て甲府に出、富士見、金沢から宮川の板室に至り、諏訪湖を挟んで東・西街道に分かれる、西街道になります。板室からは、西茅野—安国寺—前宮川—諏訪上社—湖南大熊—有賀江音寺（こういんじ）前小坂観音院—花岡城跡から東街道へと合流します。

鎌倉後の1335年、中先代の乱は、今歴史好き漫画の世界でも注目されていますが、その際北条時行が諏訪頼重と共に鎌倉を目指した道でもあります。

その後江戸時代になると、「神宮寺道」「御巡見道」ともよばれています。



鎌倉街道（西街道）の案内板



鎌倉街道を見学

② 小坂観音院（龍光山観音院）

こちらも鎌倉街道（西街道）沿いにある真言宗の寺院です。紫陽花寺として有名な当院の境内には、弘法大師空海のお手植とされる柏の大樹、樹齢700年以上の榎（さわら）並木の参道、由布姫（湖衣姫、諏訪頼重の娘、武田勝頼の母）の供養塔等があります。

③ 茅野市神長官守矢史料館

守矢家は、古くから諏訪上社の神長官（じんちょうかん）を務めてきた一族で数多くの古文書を今に伝えています。神長官が実際に神事を取り仕切っていました。当館は地元出身の建築家藤森照信氏の設計です。



神長官守矢資料館全景



高過庵（資料館と同じ藤森照信氏の設計）

【編集後記】

神長官守矢家は、神官長として76代（諸説あり）続いたと言われ、古代より営々と諏訪上社を守り続けてきたのには驚かされます。

守矢資料館には、諏訪上社の神事に関わるもの、戦国時代の武田信玄の書状など歴史的な古文書が展示されており、是非行ってみることをお勧めします。